



パートナーからの暴力で悩んでいる方に、
本冊子またはこのページを切り離して
お渡してください。

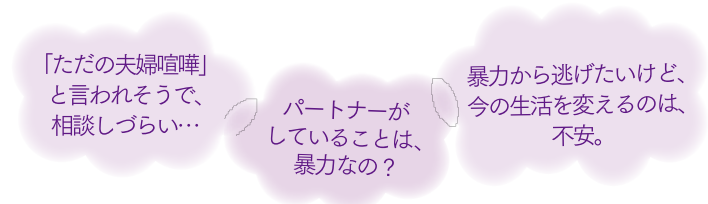
荒川区 予約制・相談無料・秘密は厳守します。

これってDV? **こころと生き方・DVなんでも相談**
まずは一度
ご相談ください。

荒川区立男女平等推進センター アクト21 ☎3809-2890
 第1水曜 午後5時～午後8時 第2土曜 午前10時～午後3時
 第1金曜／第2水曜／第4水曜・金曜 午前10時～午後4時
 第2金曜／第3水曜・金曜 午後2時30分～午後8時

270
市町村・NPO等連携による相談窓口

※カード部分を切り離すと、携帯してご利用いただけます



【いろいろな窓口・専門相談機関で相談に応じています】

荒川区配偶者暴力相談支援センター ☎3806-3075

相談日時 月～金曜日：午前8時30分～午後5時（祝休日・年末年始を除く）

荒川区立男女平等推進センター（アクト21）
「こころと生き方・DVなんでも相談」※予約制・無料 ☎3809-2890

相談日時 第1水曜：午後5時～午後8時
第1金曜／第2水曜／第4水曜・金曜：午前10時～午後4時
第2金曜／第3水曜・金曜：午後2時30分～午後8時
第2土曜：午前10時～午後3時
（年末年始を除く）

相談方法 電話または来所 ※男性は電話相談のみ

東京都配偶者暴力相談支援センター

東京ウィメンズプラザ ☎5467-2455 午前9時～午後9時（年末年始を除く）

東京都女性相談センター ☎5261-3110 午前9時～午後8時（土日祝休日・年末年始を除く）

夜間・緊急の場合

警察 ☎110番

東京都女性相談センター ☎5261-3911（夜間・緊急受付専用）

つぎの窓口・機関でも生活全般に関すること、子どもに関することなどの相談を受け付けています

◎一般相談 荒川区区民相談所	☎3802-3111 内線2145
◎生活に困っている方の相談 荒川区生活福祉課相談係	☎3802-3111 内線2631
◎子ども（18歳未満）の相談 荒川区立子ども家庭支援センター	☎3805-5523
◎子ども（18歳未満）の相談 東京都北児童相談所	☎3913-5421

※この他病院、弁護士、保健師、民生委員・児童委員にも相談できます

編集・発行／荒川区立男女平等推進センター（アクト21） 2019年3月発行／登録（28）0014号-増1
〒116-0012 東京都荒川区東尾久5-9-3 TEL 03-3809-2890 FAX 03-3809-2891
監修／番敦子 制作・印刷／（株）ドゥ・アーバン

荒川区配偶者暴力相談支援センター



contents

Introduction	配偶者暴力とは？	P.2～3
Chapter 1	これって配偶者暴力になりますか？ 身体的暴力／精神的暴力／経済的暴力／性的暴力／子どもへの虐待	P.4～9
Chapter 2	【特集】デートDVを知っていますか？	P.10～11
Chapter 3	配偶者暴力防止法の概要	P.12～14
Chapter 4	配偶者暴力被害者の周囲の方へ 荒川区配偶者暴力相談支援センターでは あなたの立場に立った相談に応じています いろいろな窓口・専門相談機関で相談に応じています	P.15 P.16～17 P.18

Introduction 配偶者暴力とは？ (ドメスティック・バイオレンス=DV)

ドメスティック・バイオレンスとは、配偶者や交際相手など親密な関係にある者からの暴力を指します。体力や経済力、社会的影響力などで**優位な立場の人が弱い立場の人を力で支配し、自分の思い通りに相手を動かすためにふるわれる暴力**のことです。

法律上は、被害者は女性に限定されていません。しかし、暴力の起こる背景には、**夫が妻に暴力をふるうのはある程度は仕方がないと容認する社会通念や、妻に収入が少ない場合が多いといった男女の経済的格差などから被害者は圧倒的に女性が多い**です。

身体的暴力だけではなく、さまざまな暴力が複合的に繰り返されるのが特徴で、暴力によって配偶者を支配しようとするものです。

身体的暴力	殴る、蹴る、突き飛ばす、物を投げつける、髪をひっぱる、刃物を向ける など
精神的暴力	怒鳴る、脅す、ののしる、何を言っても無視する、人前で侮辱する、交友関係等を制限する、行動を監視する など
経済的暴力	生活費を渡さない、借金を繰り返す、ギャンブル依存 など
性的暴力	性的な行為を強要する、避妊に協力しない、見たくないのにポルノ映像や本などを見せる など
子どもへの虐待	子どもの前で殴る・怒鳴る・ののしる など

※暴力は、ここにあげたものに限りません。

Chapter 4 配偶者暴力被害者の 周囲の方へ

15

被害者はなぜ逃げられないの？

— まずは、被害者の状況を理解することから

被害者は、「暴力をふるわれる理由は自分にある」「自分のことを愛しているから殴るんだ」「いつかは変わってくれるだろう」と思いこまされています。そのような状況の中で、逃げる機会や気力を次第に失っていきます。

さらに、「収入がないと、逃げても生活ができないのでは…」「子どもの学校や安全などを考えると逃げることが難しいのでは…」と考え、暴力的な環境の中で生活するうちに、暴力をふるう相手が望むことを優先して行動するようになり、被害者の生活はますます暴力に支配され、逃げ出すことが困難になるのです。

まずは、被害者の置かれている深刻な状況や不安をよく聞き理解してあげることが何よりも重要です。

相談を受けたらどうしたらいい？

— 専門機関へ相談するようアドバイスしてください

「あなたも悪いのでは?」「あんないい人がまさか…」という言葉や態度は、被害者を傷つけるだけでなく、せっかく勇気を出して始めた相談を、止めてしまう原因にもなります。被害者から相談を受けた場合、まずは、話をありのまま聞いてください。

そして、被害者の意思を確認せずに警察や被害者の家族に知らせたり、加害者に直接注意したりすることはせず、荒川区配偶者暴力相談支援センターまたは、専門相談機関へ相談するようアドバイスしてください (P.18 参照)。

ただし、生命または身体に、重大な危害が差し迫っていることが明らかな場合、本人の同意を得なくても、積極的に通報することが必要です。



16

荒川区配偶者暴力相談支援センターでは
あなたの立場に立った相談に応じています

悩みをきく

悩みを伺い、相談者の気持ちと一緒に整理します

一緒に考える

安心や安全感をもてる工夫と一緒に考えます

安全確保

緊急時の一時保護に向けた連絡調整

情報提供

緊急時の避難方法、保護命令などの法律、支援する機関など、必要な情報を提供します

自立支援

自立のための相談支援

配偶者暴力専門相談機関

荒川区配偶者暴力相談支援センター ☎3806-3075

相談日時 月～金曜日：午前8時30分～午後5時(祝休日・年末年始を除く)

東京ウィメンズプラザ ☎5467-2455

受付日時 毎日：午前9時～午後9時(年末年始を除く)

東京都女性相談センター ☎5261-3110

受付日時 月～金曜日：午前9時～午後8時(土日祝休日・年末年始を除く)

夜間・緊急の場合

警察(事件発生時) ☎110

東京都女性相談センター ☎5261-3911(夜間・緊急受付専用)

自立して生活すること
を決めた。今後の生活
について、相談を継続
している。

緊急時の避難先や必要
な準備を知り、安心感
をもって生活できるよ
うになった。

心身の不調がパートナー
との関係から起きてい
たことがわかり、その対
策を考えられるように
なった。

混乱していた気持ちを
整理し、今後の生活を考
えられるようになった。

相談者の
声